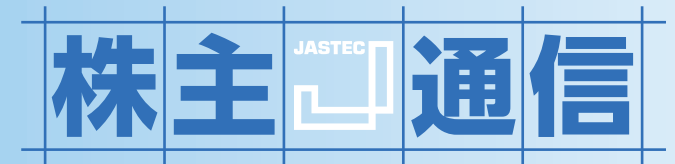


第49期



2018年12月1日▶2019年11月30日
[東証一部 9717]

株式会社 ジャステック

株主の皆様へ 1

I. ジャステックとは

- 1. 当社のキャラクター 2
- 2. 経営理念 2
- 3. 事業内容および特色 3
- 4. 当社の開発領域 4

II. 業績ハイライト

- 1. 当期(2019年11月期)の業績 6
- 2. 当期(2019年11月期)の実績 7
- 3. 業績達成への取組み 7

III. 財務諸表

- 1. 比較貸借対照表 8
- 2. 比較損益計算書 9

IV. 業績トレンド 10

V. 当社の概況(2019年11月30日現在)

- 1. 当社の現況に関する事項 11
- 2. 会社の株式に関する事項 11
- 3. 会社役員に関する事項 11
- 4. 会計監査人に関する事項 11

沿革 12

第49回定時株主総会決議ご通知 13

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当株主通信の作成にあたりましては、構想から制作まで代表取締役社長である私が参画しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、第49期事業年度(2018年12月1日～2019年11月30日)の事業概況、翌期以降の見通しおよび第49回定時株主総会の決議結果につきましてご報告させていただきます。

なお、当株主通信の内容のうち、翌期以降に関する記載事項は計画に基づくものであり、確定値ではありません。

2020年2月

代表取締役社長

中谷 昇



I . ジャステックとは

1. 当社のキャラクター

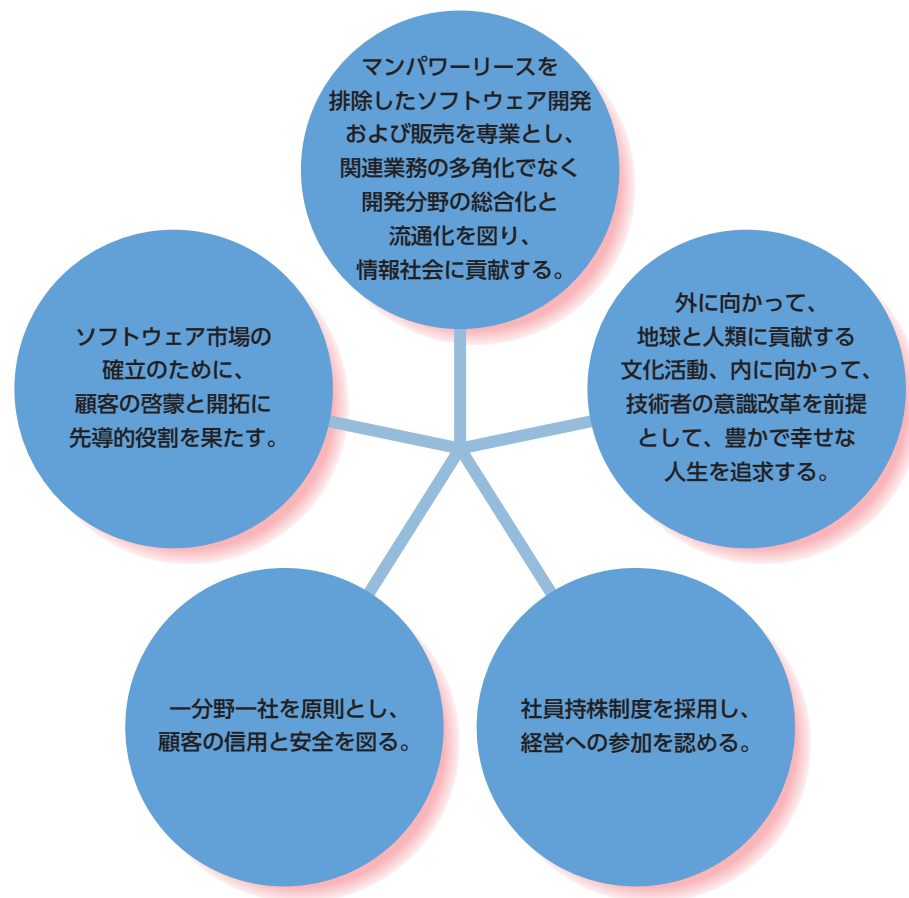


【柳小面】

この能面は、金春の座附きであった大蔵彌右衛門虎明(慶長七年の時六歳)の書いた「わらんべ草」「登髭」「金春小面と同じ作、同木にて打たる面也、今ノ金春小面ハ柳ナリ」とある小面のことと云われている。池田家伝来。

この能面を、演者で製品の提供者である株式会社ジャステックと鑑賞者で製品の使用者であるお客様とを結ぶキャラクターとして採用しました。

2. 経営理念

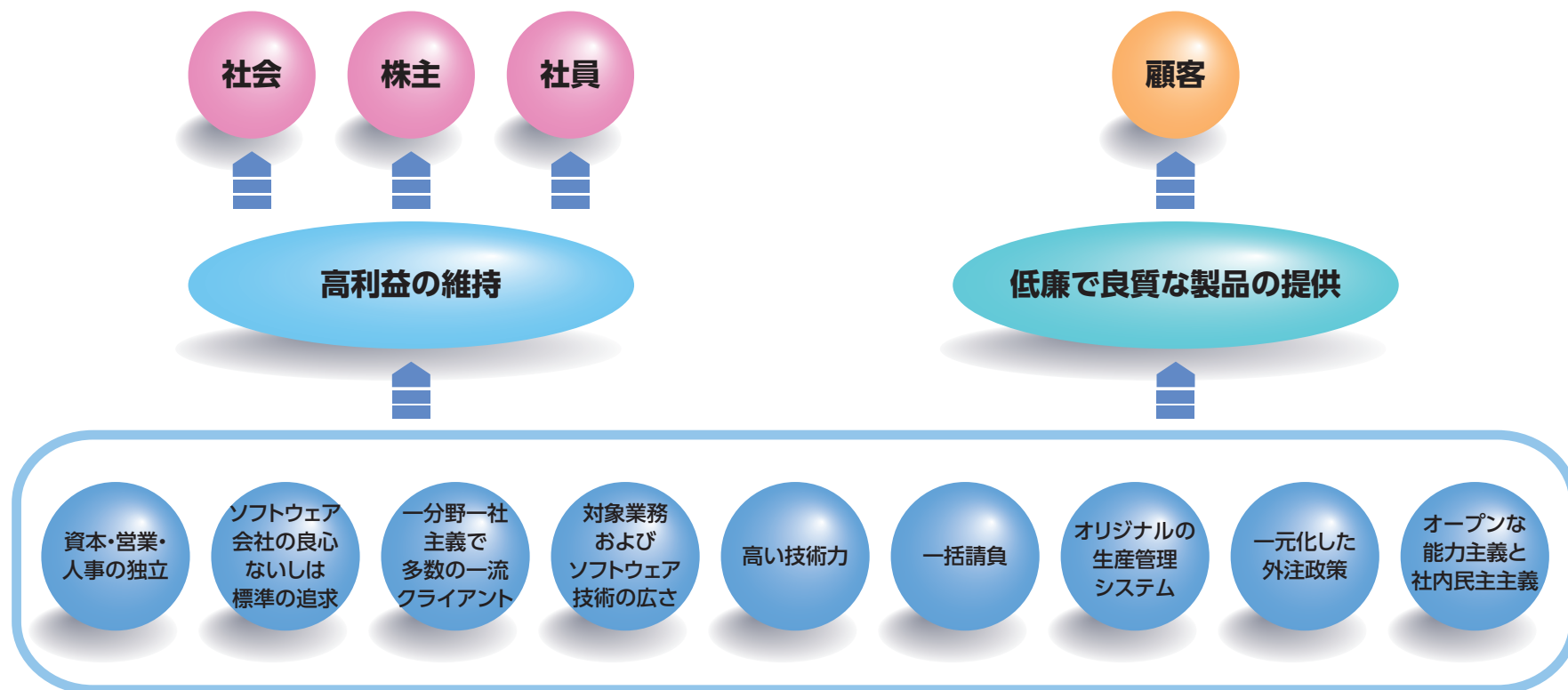


3. 事業内容および特色

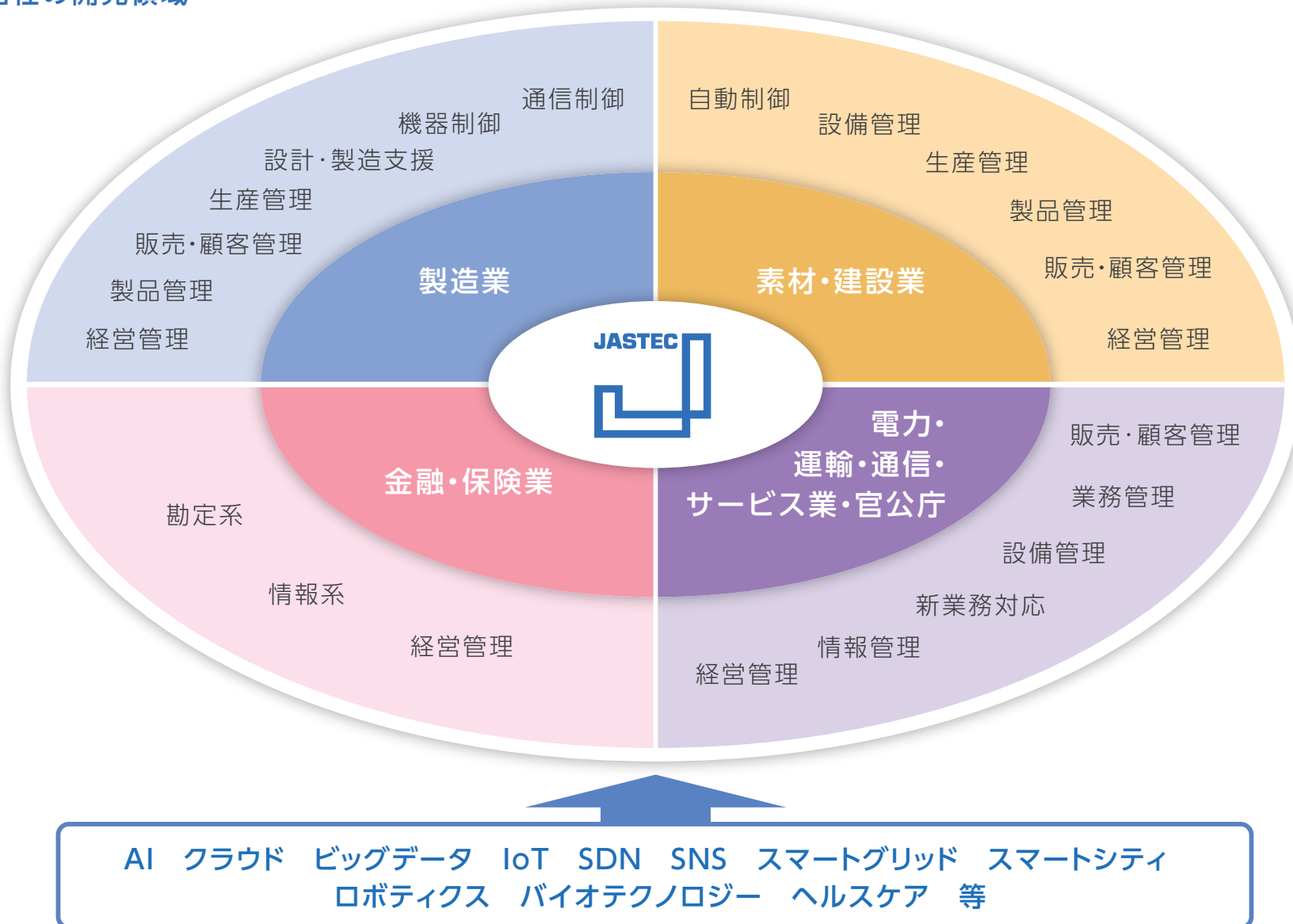
事業内容

ソフトウェア開発およびシステム販売

基本戦略



4 . 当社の開発領域



AI : Artificial Intelligence IoT : Internet of Things SDN : Software Defined Networking SNS : Social Networking Service

開発システムの代表例

素材・建設業

自動制御	◆ビルオートメーション (空調、電力、防災、防犯、衛生、省エネ、入退出等の管理、電力需給予測) ◆ITS (ナビゲーション等車載システム、VICS、道路情報センターシステム、ETC等) ◆鉄鋼プラント (高炉、転炉、連鑄、厚板圧延、スラブ・コイルヤード等)
設備管理	◆建築設備管理 【維持業務(苦情、障害監視等)、検査日程(水質、防災等)、故障予測、設備保守、自動運転等】
生産管理	◆生産管理 【超硬工具・焼結合金粉末・自動車用ゴム製品・ハーネス・電力ケーブル(受注、生産計画、在庫管理、出荷、請求、購買等)】
製品管理	◆自動車部品管理 (需要予測、在庫管理、発注、価格管理、買掛金、予算管理等) ◆リース物件管理 (予算管理、購入管理、物品管理等) ◆潤滑油製造 (添加剤管理、容器管理、調合管理等)
販売・顧客管理	◆建築部材販売工事管理 (受注管理、部材発注、工事手配、工事進捗管理、請求・入金管理、物流管理等) ◆電子部品販売管理 (予算収支管理、販売管理、供給予測、在庫管理等) ◆アフターサービス向製品出荷情報管理 (購入顧客管理、販売製品情報、部品展開等) ◆消費者情報 (苦情受付／対応、苦情処理履歴管理等)
経営管理	◆経営情報管理システム (事業計画、予算管理、グローバル会計等)

製造業

通信制御	◆通信システム 【交換機(回線、パケット、移動、PBX等)、基地局制御・管理、IPルーター、通信端末(電話機、スマートフォン、LTE、GPS端末)、ネットワーク管理、SDN(ネットワークの仮想化)対応、独自網の管理・監視(地上波デジタル放送中継網)、通信サービス(音声応答、コールセンター、課金等)、設計支援業務(局設計、伝送路設計等)】 ◆Storage Area Network (RAIDの運用管理、障害管理)
機器制御	◆デジタルカメラ (画像処理、露出/カラーバランス制御、他装置制御等) ◆車載電子制御システム 【車載OS、車載LAN、ECU(ボディ系、空調系、エアバッグ系、ドア系、走行支援系)、駆動系制御、駐車支援、自動運転】 ◆産業用ロボット (ロボットアーム、自走ロボット、センサーロボット、ドローン制御等) ◆フロー制御 (上下水道(需要予測、供給制御等)、物流、倉庫、FA等) ◆バイオテクノロジー (バイオ機器制御(保存機器、培養機器、監視機器等)) ◆ヘルスケア (診断・治療機器制御、医療映像処理等、治療サポート機器制御)
設計・製造支援	◆輸送機器 設計支援システム
生産管理	◆ソフトウェア生産管理 (見積、要員計画、開発計画、開発実績データ収集、生産性分析等)
販売・顧客管理	◆輸出経理業務処理 (取引条件管理、L/C管理、注文管理、入金予測、代金回収、売上諸費等) ◆輸送機器向け販売物流 ◆POSシステム (コンビニ店舗システム)
製品管理	◆整備技術情報 (故障診断、整備技術情報提供、保守サービス業務管理等) ◆多国語翻訳ワークフロー (メッセージ翻訳、マニュアル翻訳)
経営管理	◆会計システム (財務会計、管理会計等、IFRS対応)

金融・保険業

勘定系	◆郵便貯金業務系 (通貯貯金、給与自払、振替、振込、対外接続等) ◆銀行業務勘定系 【預金(流動性、定期性)、為替(内、外)、証券、債券、融資、CIF、短期金融市場約定確認、RTGS、海外業務、自己査定等全銀システム 24時間365日対応、自動振替、日計】 ◆信託銀行業務 【信託、資産管理、年金(ハイブリッド型、動態年金数理)、担保管理、私募投信、STP等】 ◆生保業務 【個人保険(新契約、保全、再保険管理、請求収納、満期通知、マイナス金利対応新商品、銀行窓口販売、契約事務サービス等)、団体保険(総合福祉保険、経営者保険等)、年金(厚生、共済、401K、DB・DC、年金数理、マイナス金利対応新商品等)、外務員管理、医療管理(病院向ソリューション)、営業支援端末、マイナンバー、代理店販売管理、保険事務効率化等】 ◆共済業務 (収納、保全) ◆損保業務 (船舶、貨物、火災、自動車、積ファ、生損一体保険、団体保険、少量多品種保険、満期管理、クレーム対応、契約後事務、本支店管理、営業員成績管理、代理店管理、資産運用、損害サービス等) ◆証券業務 (財形貯蓄、投信累積投資、投信窓販、信用取引、オンライントレード、持株会、ストック・オプション、貸株取引(レンジインク)、積立投資、特定口座、証券決済、ラップ口座、顧客情報、日本版ISA、高速取引、金融所得一体課税、レガシー対応等) ◆地銀共同利用型センター ◆協同組合共同利用型センター ◆信販業務 (会員管理、売掛、請求、入金、督促等)
情報系	◆銀行業務情報系 【DWH構築、パーゼル対応、信用リスク管理等、CMS、受信実績管理、顧客情報管理(個人、法人)、国際収支統計等】 ◆証券情報提供 (ニュース配信、各種証券情報コンテンツ送信等)
経営管理	◆IT費用チャージバック (予算計画、実績収集、課金、予実管理等)

電力・運輸・通信・サービス業・官公庁

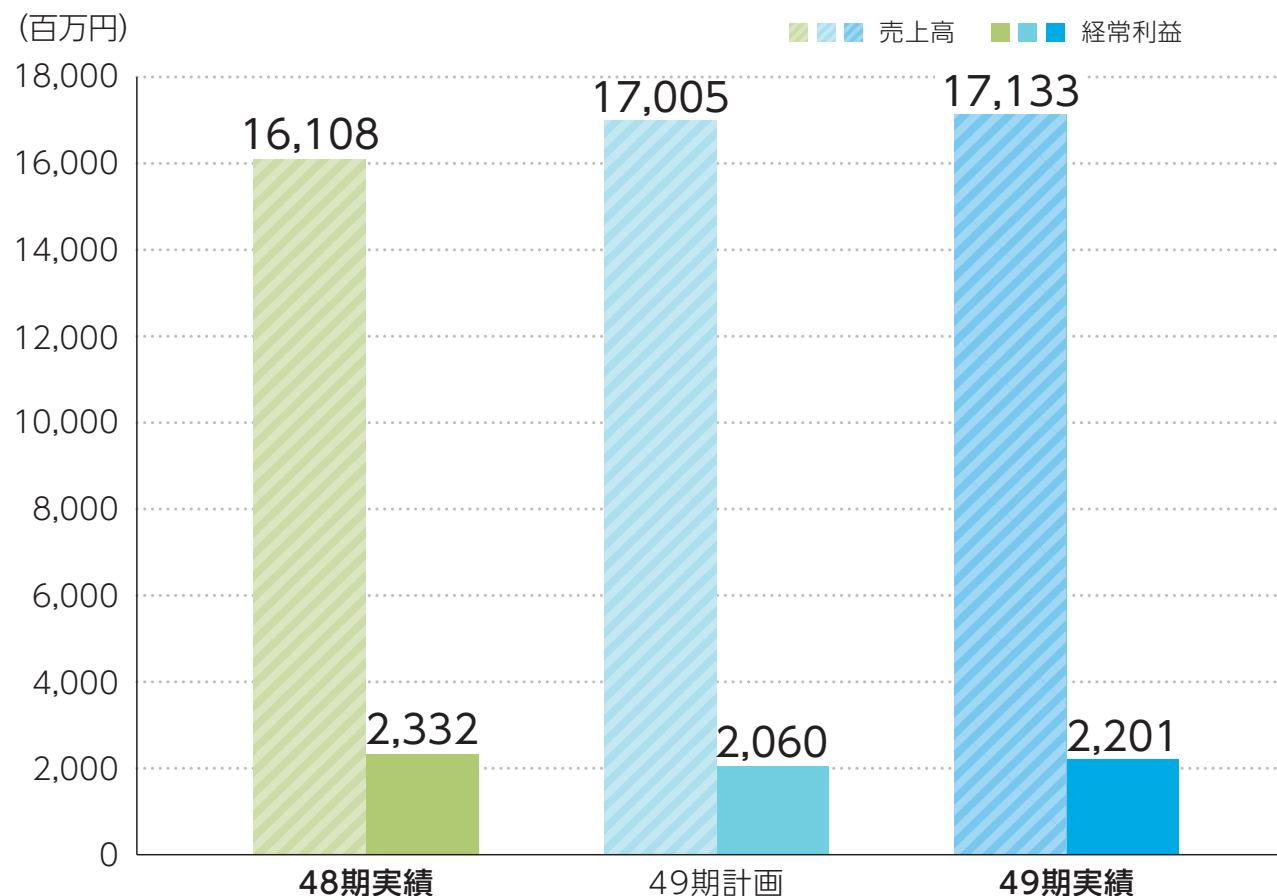
販売・顧客管理	◆航空運輸業務 【座席予約・発券(国内、国際)、運賃計算、ツアー予約、顧客管理、マイル管理等】 ◆旅行業務 (旅行・ホテル等の窓口予約およびネット予約、商品仕入、商品構築、他社提携、商品管理等) ◆電力業務 (営業(窓口対応業務、料金計算、検針、請求等)、コールセンター、顧客管理等) ◆ガス業務 【営業(窓口対応業務、料金計算、検針、請求等)、顧客管理等】
業務管理	◆航空運輸管理業務 (整備、運航管理、乗務員管理等) ◆航空交通業務 (管制業務、飛行情報業務、緊急業務) ◆旅行業管理業務 (本支店管理、提携店管理等) ◆不動産賃貸管理業務 ◆輸送業務 【請求管理、宅配便(配送業務効率化、集配端末、配送状況通知)、引越情報(配送情報、作業情報、レンタル)】 ◆医療管理業務 ◆警備業務 (警備員駆け付け、介護見守り)
設備管理	◆電力業務 【送電設備管理、配電工事管理、燃料(貯蔵品燃料受払・在庫、LNG運用・代金支払)、火力(発電計画・実績、工事管理)、太陽光発電管理、電柱敷地管理、資材管理、料金原価算定、託送】 ◆ガス業務 【メーター管理、警報機管理、住宅設備機器管理】
新業務対応	◆電力システム改革 (広域系統連用機関設立、小売全面自由化、発電電法的分離) ◆ガスシステム改革 (小売全面自由化、託送)
情報管理	◆選挙情報管理 (投票情報の収集、当確予測等) ◆画像情報検索業務 (犯罪捜査支援、有害情報遮断、意匠登録・検索支援、メディア・マーケティング) ◆建設工事現場の情報共有および作業員申請サービス ◆会員向けOne-to-Oneサービス (情報登録、商品販売、料金決済、情報提供) ◆特許庁出願書類等証明交付
経営管理	◆人事情報・給与 (異動、昇降格、成績管理、給与、賞与、退職金、年末調整、人件費管理等、社内業務フロー)

Ⅱ．業績ハイライト

1．当期(2019年11月期)の業績

売上高： 17,133百万円 (計画比+0.8%)

経常利益： 2,201百万円 (計画比+6.8%)



<売上高>

計画および前期実績をいずれも上回りました。

<経常利益>

前事業年度に投資有価証券売却益の計上があったため、前期実績は下回ったものの、計画を上回りました。

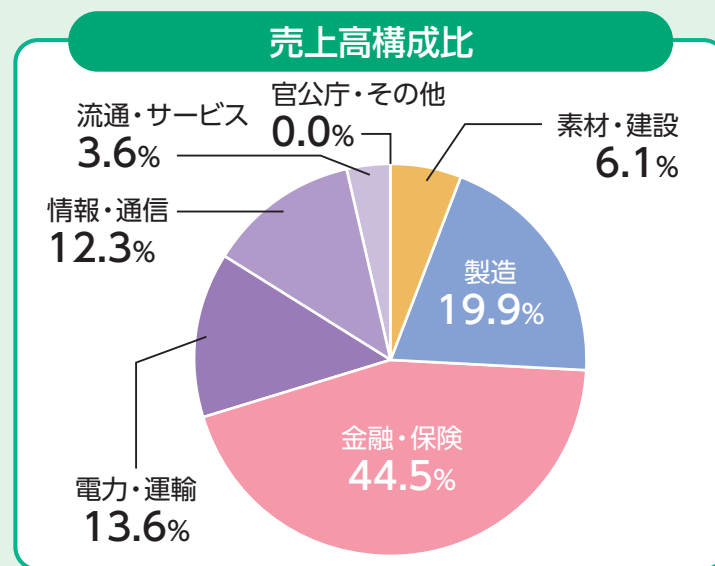
2. 当期(2019年11月期)の実績

●市場別区分毎の売上高

売上高 **17,133**百万円(計画比 + 0.8%)

■ 素材・建設	1,038百万円(計画比	△ 6.4%)
■ 製造	3,406百万円(計画比	+ 6.4%)
■ 金融・保険	7,622百万円(計画比	+ 0.4%)
■ 電力・運輸	2,333百万円(計画比	△ 12.0%)
■ 情報・通信	2,111百万円(計画比	+ 18.5%)
■ 流通・サービス	615百万円(計画比	△ 7.1%)
■ 官公庁・その他	6百万円(計画比	+ 30.7%)

営業利益 **2,138**百万円(計画比 + 3.8%)



3. 業績達成への取組み

当社はソフトウェア開発専業として、基本戦略(3頁参照)に基づき、低廉で良質なソフトウェア製品の提供に努めております。当事業年度における業績および取引先市場区分別売上高は、前述のとおりであります。当社の取組みについてご説明申し上げます。

- 業績達成に向けましては、売上計画に対し実績および残期間の予測値を管理する方式(当社では「予実管理方式」と呼んでおります。)により見える化を図り管理を行っております。前述の計画比は、その予実管理方式の一指標であります。
- 取引先市場区分別売上高につきましては、金融・保険市場における売上高の拡大を図りつつ、他市場からの受注拡大に努めて参りました。金融・保険の売上高比率がやや高い傾向にありますが、情報サービス産業における同業他社の取引先市場区分別の売上高と比較していただきますと、当社は非常に幅広い市場からソフトウェア開発を受注している会社であることをご理解いただけると存じます。

Ⅲ．財務諸表

1. 比較貸借対照表

		(金額単位:百万円)					
		第48期期末		第49期期末		前期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
資 産 合 計		18,980	100.0%	20,861	100.0%	1,881	9.9%
流 動 資 産		11,536	60.8%	13,260	63.6%	1,723	14.9%
現金及び預金		8,306	43.8%	9,881	47.4%	1,575	19.0%
売掛金		2,219	11.7%	2,203	10.6%	△16	△0.7%
仕掛金		920	4.9%	1,083	5.2%	162	17.7%
その他の流動資産		88	0.5%	91	0.4%	2	2.5%
固 定 資 産		7,443	39.2%	7,601	36.4%	157	2.1%
有形固定資産		225	1.2%	285	1.4%	60	26.7%
無形固定資産		409	2.2%	438	2.1%	28	7.0%
投資その他の資産		6,808	35.9%	6,877	33.0%	68	1.0%
投資有価証券		4,262	22.5%	4,001	19.2%	△260	△6.1%
繰延税金資産		301	1.6%	249	1.2%	△52	△17.2%
敷金		292	1.5%	296	1.4%	3	1.1%
保険積立金		1,874	9.9%	2,255	10.8%	380	20.3%
その他の固定資産		77	0.4%	74	0.4%	△3	△4.1%
負債純資産合計		18,980	100.0%	20,861	100.0%	1,881	9.9%
負 債 合 計		2,774	14.6%	3,549	17.0%	774	27.9%
流 動 負 債		1,986	10.4%	2,714	12.9%	728	36.7%
買掛金		496	2.6%	533	2.6%	36	7.4%
リース債務		53	0.3%	70	0.3%	16	30.9%
未払金		1,167	6.1%	1,412	6.7%	244	21.0%
未払法人税等		217	1.1%	596	2.9%	379	174.8%
その他の流動負債		51	0.2%	102	0.4%	51	99.7%
固 定 負 債		788	4.2%	834	4.0%	45	5.8%
リース債務		77	0.4%	123	0.6%	45	59.0%
資産除去債務		57	0.3%	60	0.3%	3	5.7%
退職給付引当金		91	0.5%	70	0.3%	△20	△22.2%
役員退職慰労引当金		562	3.0%	579	2.8%	17	3.0%
純 資 産 合 計		16,205	85.4%	17,311	83.0%	1,106	6.8%
株 主 資 本		16,199	85.3%	17,164	82.3%	965	6.0%
資本金		2,238	11.8%	2,238	10.7%	—	—
資本剰余金		2,118	11.1%	2,118	10.1%	—	—
利益剰余金		12,927	68.1%	13,877	66.5%	950	7.4%
利益準備金		123	0.6%	123	0.6%	—	—
その他利益剰余金		12,804	67.5%	13,754	65.9%	950	7.4%
自己株式		△1,085	△5.7%	△1,069	△5.1%	15	—
評価・換算差額等		△93	△0.5%	△2	△0.0%	91	—
新株予約権		100	0.5%	149	0.7%	49	49.2%

■資産

- * 1 現金及び預金の増減については、税引前当期純利益の計上や投資有価証券の売却による収入等による増加要因から、法人税等の支払額、保険積立金の積立による支出、配当金の支払額等の減少要因を差し引いたことによるものであります。
- * 2 売上高増加により売上原価も増加したことに伴い、仕掛品残高も増加しております。
- * 3 投資有価証券の一部を売却したことにより減少しております。
- * 4 解約額に比べて契約額が上回ったことにより増加しております。

■負債

- * 5 未払消費税等の増加等によるものです。
- * 6 繰越欠損金の減少に伴い課税所得が増加したため、未払法人税等も増加しております。

2. 比較損益計算書

	第48期期末		第49期期末		(金額単位:百万円) 前期比		
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	
売上高	16,108	100.0%	17,133	100.0%	1,025	6.4%	* 1
素材・建設業	940	5.8%	1,038	6.1%	98	10.5%	
製造業	2,936	18.2%	3,406	19.9%	470	16.0%	
金融・保険業	7,001	43.5%	7,622	44.5%	620	8.9%	
電力・運輸業	1,838	11.4%	2,333	13.6%	495	26.9%	
情報・通信業	2,413	15.0%	2,111	12.3%	△302	△12.5%	
流通・サービス業	945	5.9%	615	3.6%	△329	△34.9%	
官公庁・その他	32	0.2%	6	0.0%	△26	△81.6%	
売上原価 (注1)	12,430	77.2%	13,384	78.1%	953	7.7%	* 2
内作費	7,476	73.3%	7,722	74.5%	246	3.3%	
外注費 (注2)	4,954	83.1%	5,661	83.7%	707	14.3%	
売上総利益	3,677	22.8%	3,749	21.9%	71	2.0%	
販売費及び一般管理費	1,628	10.1%	1,611	9.4%	△17	△1.1%	* 3
人件費	944	5.9%	911	5.3%	△33	△3.6%	
旅費・交通費	41	0.3%	42	0.2%	0	1.5%	
支払手数料	171	1.1%	184	1.1%	12	7.3%	
賃借料・水道光熱費	57	0.4%	57	0.3%	△0	△1.2%	
諸経費	411	2.6%	415	2.4%	4	1.0%	
営業利益	2,049	12.7%	2,138	12.5%	89	4.3%	
営業外収益	286	1.8%	87	0.5%	△198	△69.4%	
有価証券利息	25	0.2%	45	0.3%	19	75.1%	
投資有価証券売却益	217	1.3%	0	0.0%	△215	△99.9%	* 4
その他	43	0.3%	42	0.2%	△1	△2.5%	
営業外費用	3	0.0%	25	0.1%	21	575.2%	
経常利益	2,332	14.5%	2,201	12.8%	△131	△5.6%	
特別利益	6	0.0%	2	0.0%	△4	△67.9%	
特別損失	12	0.1%	24	0.1%	12	100.9%	* 5
税引前当期純利益	2,326	14.4%	2,178	12.7%	△147	△6.4%	
法人税、住民税及び事業税	322	2.0%	702	4.1%	380	117.9%	* 6
法人税等調整額	433	2.7%	11	0.1%	△421	△97.3%	* 6
法人税等合計	755	4.7%	714	4.2%	△41	△5.5%	* 6
当期純利益	1,570	9.7%	1,464	8.5%	△106	△6.8%	
1株当たり当期純利益(円)	91.52		86.13		△5.39	△5.9%	

■売上高

* 1 業種別の増減は左記の表のとおりであります。

■売上原価

* 2 売上高の増加に加え、原価率の上昇に伴い売上原価が増加しております。

■販売費及び一般管理費

* 3 経費抑制等により、売上高及び売上原価の増加にも関わらず、販管費は微減しております。

■営業外収益

* 4 48期において、純投資目的株式の一部を売却いたしました。

■特別損失

* 5 48期において、固定資産除却損が計上されております。
49期において、投資有価証券評価損等が計上されております。

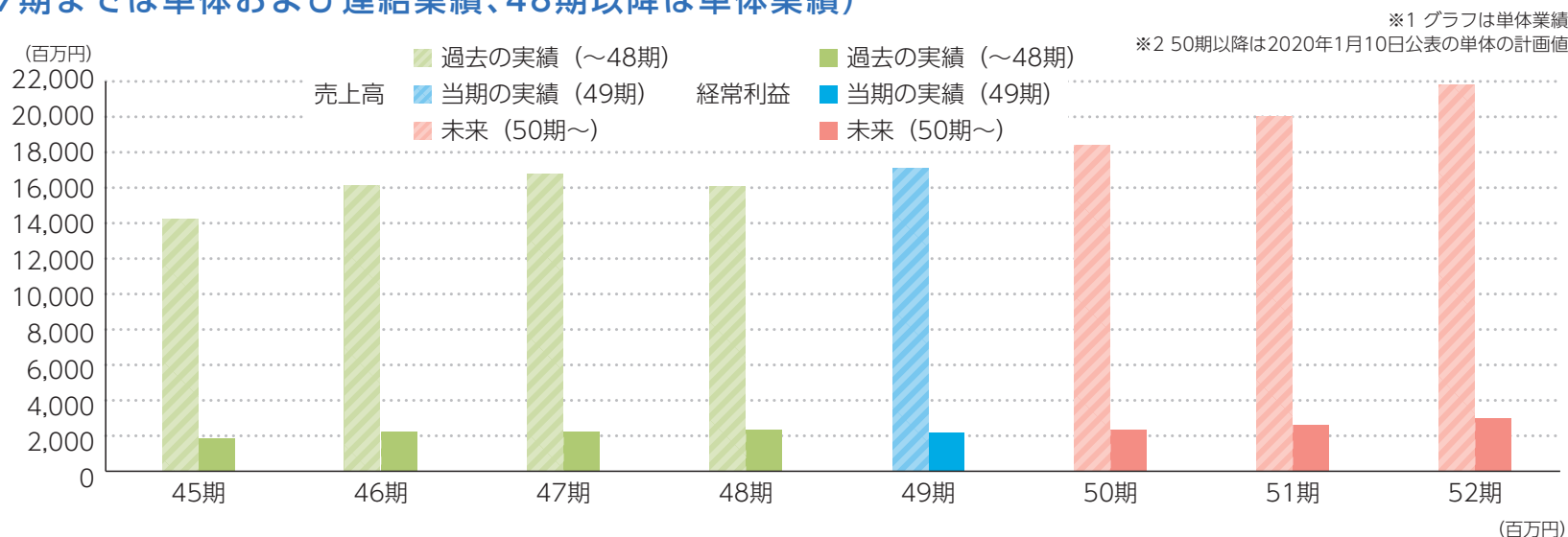
■法人税等合計

* 6 繰越欠損金の減少に伴い課税所得が増加したため、「法人税、住民税及び事業税」は増加する一方、繰延税金資産の取崩額も減少し「法人税等調整額」も同時に減少しております。

(注1)「売上原価」の売上比は、それぞれ対応する売上高に対する比率を記載しております。
(注2)「売上原価」のうち「外注費」には、外注に係る補助部門費(購買費、検査費)を含んでおります。

Ⅳ．業績トレンド

■ 業績（47期までは単体および連結業績、48期以降は単体業績）



項 目	45期	46期	47期	48期	49期	50期	51期	52期
売上高	14,277 (14,377)	16,164 (16,226)	16,799 (16,841)	16,108	17,133	18,405	20,026	21,850
経常利益	1,856 (1,800)	2,261 (2,200)	2,249 (2,223)	2,332	2,201	2,354	2,619	2,985
当期純利益※3	2,492 (2,390)	1,453 (1,351)	1,486 (1,614)	1,570	1,464	1,582	1,760	2,015

※3 47期までの連結業績は「親会社株主に帰属する当期純利益」です。※4 ()内は連結業績

■ 経営指標（47期までは単体および連結業績、48期以降は単体業績）

(%)

項 目	45期	46期	47期	48期	49期	50期	51期	52期
売上高経常利益率	13.0 (12.5)	14.0 (13.6)	13.4 (13.2)	14.5	12.8	12.8	13.1	13.7
売上高当期純利益率	17.5 (16.6)	9.0 (8.3)	8.9 (9.6)	9.7	8.5	8.6	8.8	9.2
自己資本比率	80.4 (80.6)	83.8 (83.5)	82.9 (83.1)	84.9	82.3	82.8	83.5	82.9
自己資本当期純利益率 (ROE)	19.2 (18.3)	10.2 (9.5)	9.9 (10.8)	9.9	8.8	8.9	9.3	10
総資産経常利益率 (ROA)	11.4 (11.1)	13.0 (12.7)	12.4 (12.3)	12.3	11.1	11.0	11.5	12.3
配当性向	21.0 (21.9)	35.6 (38.3)	34.5 (31.8)	32.8	34.8	32.2	29.0	25.3

※5 ()内は連結業績

V. 当社の概況（2019年11月30日現在）

1. 当社の現況に関する事項

(1) 主要な事業内容

当社は、ソフトウェア開発を主な事業としております。

(2) 主要な拠点等

拠点	所在地
本社	東京都港区
戸越分室	東京都品川区
沼津営業所	静岡県沼津市
福岡営業所	福岡県福岡市
大阪営業所	大阪府大阪市
仙台営業所	宮城県仙台市
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区
広島営業所	広島県広島市

(3) 従業員の状況

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
1,294名	22名増	35.5歳	11.8年

(注) 従業員数は、当社から当社外への出向者を除き、当社外から当社への受入出向者を含む就業人員数であります。

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数	普通株式……………	60,000,000株
(2) 発行済株式の総数	普通株式……………	18,287,000株
(3) 株主数		4,129名
(4) 大株主(上位10位)		

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
神 山 茂	2,953,600	17.36
有限会社ササヤマ	1,200,000	7.05
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	1,029,800	6.05
ジャステック従業員持株会	1,025,194	6.02
東京海上日動火災保険株式会社	593,280	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	555,900	3.26
第一生命保険株式会社	550,000	3.23
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	430,900	2.53
日本生命保険相互会社	402,480	2.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	360,800	2.12

(注) 持株比率は自己株式(1,281,562株)を除いて計算しております。

3. 会社役員に関する事項

取締役の氏名等

地位	氏名	担当および重要な兼職の状況
取締役会長	神 山 茂	会社全般に亘る改善改革の提案と対処
代表取締役社長	中 谷 昇	最高経営責任者
取締役	宮 本 伸 二	執行役員技術部管掌 製造本部本部長兼教育部長兼人材開発部長 兼情報セキュリティ管理室長
取締役	村 中 英 俊	執行役員 総務経理本部本部長兼総務人事部長兼経理部長
取締役	牛 頭 秀 雄	執行役員 購買部長兼製造本部プロジェクト推進部長 兼情報システム部長
取締役	谷 隆 光	執行役員 営業本部本部長兼営業2部長
取締役 (監査等委員)	竹 田 正 人	SBSホールディングス株式会社社外監査役
取締役 (監査等委員)	永 島 豊	公認会計士永島会計事務所所長
取締役 (監査等委員)	松 本 実	松本実公認会計士事務所所長 フォスター電機株式会社社外取締役

4. 会計監査人に関する事項

(1) 会計監査人の名称

有限責任監査法人トーマツ

(2) 会計監査人の報酬等

① 公認会計士法第2条第1項に規定する業務に基づく報酬……………	33,800千円
② 当社が会計監査人に支払うべき報酬等の合計額……………	33,800千円

(注) 1 上記①は、当社と会計監査人との監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、これらの合計額を記載しております。

2 当社の監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況および報酬見積りの算出根拠等を確認し、会計監査人の報酬等の額の妥当性を検討した結果、本報酬等の額が合理的水準であると判断し、会社法第399条第1項の同意を行っております。

V．当社の概況（2019年11月30日現在）

沿革

年月	概要
1971年7月	東京都渋谷区広尾1丁目3番14号において株式会社ジャステック(資本金350万円)を設立し、ソフトウェアの開発業務を開始。
1975年12月	株式会社アドバート(100%出資)を設立。
1982年3月	沼津営業所を開設。
1985年11月	東京都港区高輪3丁目5番23号に本社移転。
1989年6月	株式を店頭売買有価証券として登録。
1990年2月	「システムインテグレーター企業」として通商産業省から認定。
1993年11月	「高度ソフトウェア／サービス登録企業」として情報処理振興事業協会から認定。
1996年10月	品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証を取得。
1997年10月	福岡営業所を開設。
1998年6月	大阪営業所を開設。
1998年9月	個人情報保護マネジメントシステム「JIS Q 15001」に準拠した「プライバシーマーク」使用の認証を取得。
2000年6月	東京証券取引所市場第二部に上場。
2003年1月	ニューヨーク駐在員事務所を開設。
2003年5月	東京証券取引所市場第一部に上場。
2003年10月	全社を対象としたCMMI(能力成熟度モデル統合)レベル5を達成。
2004年4月	米国でのソフトウェア事業の展開を図る目的で米国子会社(JASTEC International, Inc.)を設立。
2004年6月	仙台営業所を開設。
2004年10月	名古屋営業所を開設。
2004年10月	2004年度情報化促進貢献企業として経済産業大臣賞を受賞。
2005年1月	環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得。
2005年3月	米国子会社 JASTEC International, Inc.にて、LTU Technologies S.A.S.(本社:仏国パリ)の全株式を取得。
2006年3月	情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格「ISO/IEC27001」の認証を取得。
2008年11月	CMMI(能力成熟度モデル統合)Version 1.2でレベル5を達成。
2012年5月	CMMI(能力成熟度モデル統合)Version 1.3でレベル5を達成。
2015年4月	JASTEC FRANCE S.A.S.(本社:仏国パリ)設立。
2017年10月	JASTEC FRANCE S.A.S.(本社:仏国パリ)売却。
2018年6月	CMMI(能力成熟度モデル統合)Version1.3でレベル5を継続達成。
2019年3月	広島営業所を開設。

第49回定時株主総会決議ご通知

2020年2月26日開催の当社第49回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたのでご通知申し上げます。

記

報告事項 第49期(2018年12月1日から2019年11月30日まで)事業報告および計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案** 剰余金の配当の件
本件は、原案どおり承認可決され、期末配当につきましては、1株につき金30円と決定いたしました。
- 第2号議案** 監査等委員以外の取締役6名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、神山 茂、中谷 昇、宮本 伸二、村中 英俊、牛頭 秀雄、谷 隆光の6氏が取締役に選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、本総会終了後に開催された取締役会において代表取締役、役付取締役および執行役員ならびに各取締役(監査等委員である取締役を除く)の担当職務を次のとおり決定いたしました。

取締役会長	神山 茂	会社全般に亘る改善改革の提案と対処
代表取締役社長	中谷 昇	最高経営責任者
取締役	宮本 伸二	執行役員技術部管掌 製造本部本部長 兼教育部長 兼人材開拓部長 兼情報セキュリティ管理室長
取締役	村中 英俊	執行役員 総務経理本部本部長 兼総務人事部長 兼経理部長
取締役	牛頭 秀雄	執行役員 購買部長 兼製造本部プロジェクト推進部長 兼情報システム部長
取締役	谷 隆光	執行役員 営業本部本部長 兼営業1部長

- 第3号議案** 監査等委員である取締役3名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、竹田 正人、永島 豊、松本 実の3氏が取締役に選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第4号議案** 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、宮園 伸吾氏が選任されました。
- 第5号議案** 当社の監査等委員以外の取締役に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬決定の件
本件は、原案どおり承認可決され、当社の監査等委員以外の取締役に対し、譲渡制限付株式報酬制度を導入し、その報酬の額を年額1千万円以内とすることに決定いたしました。

以上

期末配当金のお支払について

- お支払方法について、口座振込をご指定いただいている株主様は、同封の「第49期期末配当金計算書」および「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。株式数比例配分方式を選択されている株主様の配当金のお振込先につきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- お支払方法について、口座振込をご指定いただけない株主様は、同封の「第49期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、その裏面記載事項をご高覧のうえ、銀行取扱期間中(2020年2月27日～2020年3月31日)に配当金をお受け取りください。
- 同封の「第49期期末配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご使用いただけます。株式数比例配分方式を選択されている株主様におかれましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

／ 株主メモ

事業年度	12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主確定日	11月30日
中間配当金受領株主確定日	5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います 当社ホームページ(http://www.jastec.co.jp) に掲載いたします

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 **ジャステック**

〒108-0074 東京都港区高輪3-5-23

TEL. (03) 3446-0295 (代表)

ホームページアドレス <http://www.jastec.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。